



みどりの風

令和4年4月6日発行
校報 595号
(みどりの風 138号)
練馬区立関町北小学校

ご入学・ご進級おめでとうございます

校長 吉川 文章

「心を開き、夢を育てる」の経営理念を礎に、学校をさらに前に進める

本校校長2年目となる吉川文章です。今年度も、前大野泰弘校長先生をはじめとする歴代の校長先生方や教職員の方々、何より、保護者地域の皆様が築かれた歴史と伝統を継承するとともに学校をさらに前へと進めてまいります。

3月25日、感染拡大防止による規模縮小や制限がある中、卒業生が誇りと自覚をもって式に臨み、堂々とした態度で巣立っていきました。一年間、関北の最高学年として、「体育フェスティバル」や「学芸会」などの行事やふだんの学校生活を引っ張ってくれた最高学年のリーダーシップに思いをはせ、胸が熱くなりました。数々の制限を、むしろ「成長の絶好の機会」として、ポジティブに前を向くことを学校の合言葉に教育活動を進めてきた集大成の儀式となりました。このような節目の行事が実施できましたのも、関北をお支えくださった保護者の皆様、地域の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

一昨年度に引き続き、昨年度も学校評議員の皆様、町会の皆様、歴代PTA会長様など地域の皆様とじっくりとお会いできる機会がありませんでした。また、関地区委員会をはじめとする地域の行事も開催に至らず、もどかしい思いです。今年度は、ぜひとも、令和5年度の新校舎完全お披露目式(令和5年…)に向けた準備の行事(今後随時ご連絡)を皮切りに少しずつ、学校を地域に開いていけたらと願っております。

さて、本日の入学式と始業式を迎えた子どもたち。保護者の皆様には、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。心よりお慶びを申し上げます。今日は、笑顔いっぱい1年生99名と13名の転入生を迎えて、全18学級、全校児童595名(4月6日現在)の子どもたちと共に、関町北小学校の新たな1年をスタートすることができました。

今年度も、感染防止対策による子供たちの健康安全への取り組みは最優先の課題であります。当面は、多くの制限を余儀なくされる教育活動となります。しかし、立派に巣立った卒業生のように、こういった機会をむしろ成長の絶好の機会と捉え、教職員一丸前を向いて教育活動に当たる所存です。10年後、20年後には、「私たちは、あのコロナを仲間や先生たちと共に乗り越えたのだ」と胸を張って言えるよう、ポジティブな姿勢で子供たちに関わってまいります。

校長として、皆様の大切な「愛し子」であるお子様をお預かりするにあたって、その基本的な方針である「心を開く・共に生きる(教育目標)・夢を育てる」という思いは今年度も貫いてまいります。学習指導要領の趣旨や昨年度の保護者の皆様から寄せられたご意見などを踏まえ、よりよい学校像をめざしてまいりたいと考えております。

<めざす学校像>

- 主体的に学び続ける児童を育てる学校【知育】
- 温かい心や言葉が日々通い合う学校【徳育】
- 心身を鍛えながら互いに高め合う学校【体育】

この学校像に迫るため、例年通り、次の6つの柱を立て、教職員の叡智を結集し、子どもたちの生命・健康・安全・安心を最優先に考え、保護者や地域の皆様のお力をお借りしながら創意工夫してまいりたいと考えております。

<学校経営の6つの柱>

- ◇開かれた関北 - 連携を深め、子どもたちの夢を育むために -
- ◇共生の関北 - 豊かな心と絆を育むために -
- ◇学びの関北 - 学び方や学ぶ楽しさを体得するために -
- ◇健康安全の関北 - 心にたくましさや安心感を育むために -
- ◇環境の関北 - 心が潤い、温かさを感じるために -

何卒、ご理解、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、学校ホームページには、今年度の学校経営計画を随時掲載してまいります。